

はちのへ 市議会だより

令和 8 年 9 月定例会



今回の表紙
令和 8 年 8 月 8 日 ハ、ハ、ハ、八戸！関係行事



TOPIC

令和 7 年度決算に対する
各会派の意見

八戸市 乾杯条例

令和 8 年 6 月定例会において、議員提案により上程され、全会一致で可決された「八戸市ふるさとの恵み乾杯条例」のロゴマークが決定しました。

9 月定例会一般質問のキーワード

ヴァンラーレ八戸
ふくちアイスアリーナ改修 スタジアム整備
医療機関 地域資産 フッ化物洗口 八戸三社大祭
借上料減額 雨水管きよ整備 就労要件
窓口業務委託 候補地 浸水対策 まちづくり八戸
美食都市研究会 車中泊避難者 仮設トイレ
就労時間の下限 防犯カメラ 県立郷土館 食の魅力
アクセス性 八戸市いじめ防止対策推進条例
美食都市アワード スタジアム 高齢者施設
雨水排水施設 候補地選定 市内書店 救急搬送
保育認定 傷病者の関係者 八戸市立図書館
浸水被害 八戸三社大祭運営委員会 防災拠点
会計年度任用職員 救急車への同乗 借上料見直し
八戸地区連合防犯協会 民間の事業参画可能性

並んでいる単語は、一般質問における単語の出現頻度を可視化したものです。
出現頻度が高い単語ほど大きく表示されています。

決算に対する各会派の意見

令和7年度の一般会計・各特別会計決算（認定第1号）、および公営企業会計決算（認定第2号）は、決算特別委員会の審査を経て、9月18日の本会議で賛成多数で認定されました。

採決に先立ち、各会派議員が、会派の賛否の意見表明を行いましたので、その要旨を掲載します。



決算特別委員会の様子

について検討を進めるよう要望する。

市民病院事業では、2年連続の赤字決算となったが、引き続き青森県南・岩手県北地域を支える中核病院として、診療体制の充実と経営改善の両立に努めるよう要望する。

下水道事業では、老朽化対策や耐震化に計画的に取り組み、未普及地域の整備とのバランスに配慮しながら、安全で安定した事業運営に努めるよう要望する。

自民クラブ

認定第1号・2号に賛成

一般会計・各特別会計決算では、地域経済の活性化のほか、子ども・子育て施策の充実や都市基盤の整備など、政策間の連携を図りながら、重要課題に対応する取り組みを戦略的に展開したことを評価する。

青森県東方沖地震への対応を踏まえた課題を今後の防災・減災対策に活かし、さらなる防災力強化に取り組むことを要望する。また、今後も厳しい財政環境が予想されるが、必要な行政サービスを確保しながら、持続可能で柔軟な財政運営に努めることを期待する。

自動車運送事業では、安全安心な運行と利便性向上への取り組みを評価するとともに、さらなるサービス向上と運行の効率化を図り、持続可能な事業運営に努めるよう要望する。

市民病院事業では、医療の質向上や業務効率化への取り組みを評価するとともに、今後も経営改善に取り組みつづ、市民の生命と健康を守る役割を果たすことを期待する。

下水道事業では、未普及地域の解消などによる普及率の向上を評価する。今後も効率的な施設整備と適切な維持管理を進め、安定したサービスの提供に努めることを期待する。

きずなクラブ

認定第1号・2号に賛成

一般会計決算では、経常収支比率^{*1}が92.2%と高い水準にあるほか、中期財政見通しでは、今後の財政調整基金残高の減少が見込まれることから、限られた財源を有効活用し、真に必要な施策を進める必要がある。

本特別委員会で意見・要望した、存廃を含めた番町ヒルズの今後の在り方や、中心街の公共施設での休館日分散、旧柏崎小学校跡地の地盤沈下に伴う山車小屋の安全性確保、給食センター被災長期化への対応などについて検討し、今後の市政運営や予算に反映するよう要望する。

自動車運送事業では、利用促進や効率的な運行に加え、受益と負担の在り方についても市民の理解を得ながら議論し、持続可能なバス事業に

自由民主・無所属クラブ

認定第1号・2号に賛成

一般会計・各特別会計決算では、第7次八戸市総合計画などにに基づき、多岐にわたる重要課題の解決に向け各種施策へ重点的に取り組んだことを大いに評価する。実質収支額は黒字だが、歳出における経常経費の増加が大きく、市税収入は増加しているものの、対応すべき経費の増分を補えないことから、適正な受益者負担の在り方などの検討を要望する。

自動車運送事業では、老朽化したバスの更新や行先表示器の白色LED化など、利用者の利便性向上と利用促進に取り組んだことに感謝する。今後も安全安心な輸送サービスを提供し、経営の健全化と経営基盤の強化を一層推進することを要望する。

市民病院事業では、高度看護研修センターの院内開設や薬剤師の確保に向けた奨学金返還金貸付制度の新設など、持続可能な地域医療提供体

*1 経常収支比率 … 人件費、扶助費、公債費などの経常的な経費に、地方税、地方交付税などの経常的な収入がどの程度充当されているかの割合。

*2 財政調整基金 … 年度間の財源の不均衡を調整するための積立金。財源に余裕のある年度に積み立てを行い、不況による大幅な税収減や災害の発生などによる思わぬ支出の増加がある年度に取り崩しを行う。

制の確保に向けた取り組みを評価する。今後も地域の中核病院として、役割と責任を果たすことを期待する。

下水道事業では、着実な建設改良事業推進に努めていることに感謝する。今後は、水洗化率の引き上げなどに取り組み、将来にわたり安定的なサービスを提供するよう要望する。

公明党

認定第1号・2号に賛成

一般会計・各特別会計決算では、第7次八戸市総合計画などに基づき、物価・燃料高騰対策、地震災害からの復旧など、多岐にわたる課題への対応が進められた。今後も厳しい財政状況が見込まれるが、限りある行財政資源を効果的に活用しながら、誰もが安心して暮らし、活躍できる地域社会が実現されるよう要望する。

自動車運送事業では、厳しい経営状況が続く中、利用者の利便性の維持・向上と利用促進に努めたことを評価する。今後も利便性と運行効率の両立を図り、市民生活を支える公共交通機関として、安全・安心な輸送サービスを提供するよう要望する。

市民病院事業では、見守り支援システムの導入や高度看護研修センターの開設など、医療の質と患者の安全性の向上、人材確保に努めたことを高く評価する。今後も、良質な医療を安定的に提供するよう要望する。

下水道事業では、未普及解消と老朽化対策の両面から事業を推進したことに感謝する。今後も厳しい経営環境が予想されるが、計画的な更新と経営状況の的確な把握に努め、将来にわたって安定した下水道サービスを提供するよう要望する。

新緑・無所属の会

認定第1号・2号に賛成

一般会計・各特別会計を合わせた実質収支額を黒字決算としたことを評価するが、財政の硬直化^{*3}が見られるため、市民の要望に応えられる余力をもった財政運営を要望する。また、生活困窮家庭の子どもへの支援、本八戸駅へのエレベーターの早期設置、北インター第2工業団地のGX戦略地域の認定、避難所の生活環境向上、学校施設の地震被害の早期復旧、武道館の早期改修と空調設備の設置、デジタル化の影響を勘案した低学年児童への配慮、部活動地域移行に伴う困窮家庭の子どもの体験格差への支援について強く要望する。

自動車運送事業では、利便性向上や利用者増への努力を評価するとともに、市民の足を守る気概をもって経営改善に努めることを要望する。

市民病院事業では、2年連続の赤字となったが、本年度の診療報酬改定により、赤字が解消されることを期待するとともに、市民の健康と生命を守ることを使命に尽力していることに感謝と敬意を表する。

下水道事業では、老朽化による事故の防止への入念な対処を要望するとともに、令和10年度の普及率80%が確実に達成できるよう期待する。

無所属(苦)

認定第1号に反対
認定第2号に賛成

一般会計決算では、特別支援教育看護支援員の配置や会計年度任用職員などの処遇改善は評価するが、遊休農地の増加防止・解消に向けた取

り組みやカラス被害対策のごみ箱設置補助金不足への対応など、改善すべき点が残されている。

また、介護保険特別会計決算では、加齢性難聴者への補聴器購入助成の早期実施を求める市民の声に応えた財政運営へと改善すべきであり、認定第1号に反対する。

公営企業会計決算では、下水道事業や公共交通、地域の中核病院としての医療を保っている当市の努力に感謝する。特に市民病院事業では、薬剤師の安定的確保・定着に向けた奨学金返還資金の支援を評価するとともに、精神科医療などの医療従事者の計画的な育成・確保に継続して取り組むよう要望する。

無所属(前)

認定第1号・2号に賛成

一般会計・各特別会計決算を合わせた実質収支額は黒字となっているが、人口減少などから税収減少が想定されるため、限られた財源を適正に運用することを要望するとともに、本特別委員会で質問した項目について、次年度予算への反映を要望する。

自動車運送事業では厳しい経営状況が続いているが、市民の足を担う重要性は増しており、使命感を持って運営に取り組むよう要望する。

市民病院事業では、物価高騰の影響などにより医療費用が増大しているが、今後も地域の中核病院として、地域医療の発展に寄与し、健全な経営を継続することを期待する。

下水道事業では、衛生的で快適な市民生活のため、着実に事業を推進しており、純利益を計上している。将来的にも安定した健全な経営が維持できるよう要望する。

^{*3} 財政の硬直化 … 予算の中で経常的に支出される経費が多く、新たな政策に向けた財源が乏しくなり、財政の弾力性が失われている状態。

議案審議結果・賛否一覧表

【全会一致で可決されたもの】

市長提出議案	予算	令和8年度補正予算 八戸市一般会計（議案第89号）/地方卸売市場八戸市魚市場特別会計/八戸市中央卸売市場特別会計/八戸市国民健康保険南郷診療所特別会計/八戸市後期高齢者医療特別会計
	人事	八戸市教育委員会の委員の任命/人権擁護委員の候補者の推薦
	条例	一部改正 八戸市附属機関設置条例/八戸市市税条例/八戸市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例/八戸市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例/八戸市の議会議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例/八戸市ひとり親家庭等医療費給付条例及び八戸市子ども医療費給付条例
	その他	学習用コンピュータの買入れ/処分事件の報告及びその承認を求めること/指定ごみ袋の買入れの一部の変更/訴訟事件の和解
	認定	令和7年度八戸市公営企業会計決算（認定第2号）

【賛否が分かれたもの】

○：賛成 ×：反対

区分	議案	会派名	く自 民	くさ ずな クラブ	自由 民主 党	公明 党	新緑・ 無所属の 会	（石） 無所属	（苦） 無所属	（前） 無所属	議決結果
市長提出議案	予算	令和8年度補正予算 八戸市一般会計（議案第90号）	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
	その他	損害賠償の額を定めること	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
	認定	令和7年度八戸市一般会計及び各特別会計決算（認定第1号）	○	○	○	○	○	○	×	○	認定

請願の審査結果

件名	会派名	く自 民	くさ ずな クラブ	自由 民主 党	公明 党	新緑・ 無所属の 会	（石） 無所属	（苦） 無所属	（前） 無所属	議決結果
非核三原則の堅持を求める請願		—	—	—	—	—	—	—	—	継続審査

- 高橋正人議員は全議案の採決を欠席。
- 藤川優里議長は採決には加わっていません。
- 本定例会の個別の賛否状況については、市議会ホームページでご覧いただけます。

会派別所属議員

自民クラブ	長谷川 ひろゆき 小屋敷 孝 立花 敬之	岡田 英 壬生 八十博 坂本 美洋	日當 正男 藤川 優里
きずな クラブ	吉田 洸龍 山名 文世	田名部 裕美 五戸 定博	三浦 博司 寺地 則行
自由民主・ 無所属クラブ	山之内 悠 上条 幸哉	間 盛仁 森園 秀一	久保 百恵 豊田 美好
公明党	土嶺 直樹	高橋 正人	中村 益則
新緑・ 無所属の会	伊藤 圓子	吉田 淳一	
無所属（石）	石橋 充志		
無所属（苦）	苔米地 あつ子		
無所属（前）	前田 由美		

人事案件

○八戸市教育委員会の委員に、次の方を任命することに同意しました。

にし やま やす み
西山 康巳氏

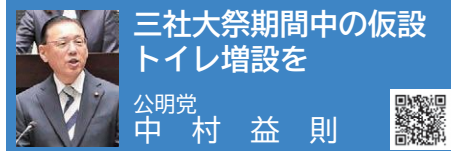
○人権擁護委員の候補者に、次の方を推薦することに同意しました。

たけ うち よし お
武 内 慶 雄 氏
たけ はな かず ひと
竹 花 和 人 氏
す どう じゅん
須 藤 淳 氏

一 般 質 問

一般質問とは、議員が市長などに対して、市政全般について事務の状況や課題、今後の方針などを質問したり、提言したりするものです。

今定例会では、9月7日から9日の3日間にわたり、16人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。



三社大祭期間中の仮設トイレ増設を

公明党
中 村 益 則



問 三社大祭期間中の仮設トイレ設置における現状の取り組みと、増設する考えはないか伺いたい。

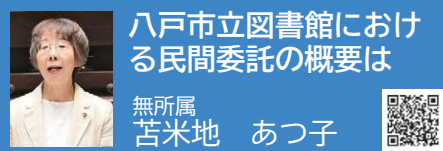
答 仮設トイレの設置場所や台数は、八戸三社大祭運営委員会が運行経路上の地権者との交渉の上決定しており、例年、8月3日のお還りに長者山下の八坂神社前に1台、日赤血液センターに4台設置している。

同委員会としても設置の必要性は認識しているが、費用面のほか、地権者の承諾を得られないことなどから、増設は難しい状況である。

市としても、三社大祭におけるトイレの不安を解消すべく、同委員会に対し、トイレの適切な設置場所の検討および効果的な情報発信のための働きかけを行うほか、民間施設への協力についても促していく。

【その他の質問】

◆多文化共生について など



市立図書館における民間委託の概要は

無所属
苦米地 あつ子



問 市立図書館における民間委託の概要と委託後の会計年度任用職員の身分保障について伺いたい。

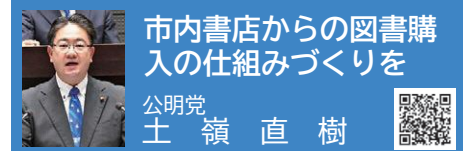
答 市立図書館は図書の選書や調査相談への対応、古文書の保存管理など高い専門性・継続性を要する業務を担っているため、窓口業務のみを令和9年度から委託予定である。

民間事業者の専門的な知識やノウハウ、柔軟な人材配置などを活用し、市職員が図書館運営や企画などに重点的に取り組む体制を整えることで、市民サービスの向上が期待できる。

会計年度任用職員は一定数減員が見込まれるが、現在雇用中の職員には勤務条件や勤務内容の変更などを丁寧に説明し、適切に対応していく。

【その他の質問】

◆小規模米農家への支援について
◆地震対応における職員配置について など



市内書店からの図書購入の仕組みづくりを

公明党
土 嶺 直 樹



問 市立図書館や小中学校図書館の図書を市内書店から購入する仕組みを検討できないか伺いたい。

答 現在、市立図書館および小中学校図書館においては、(株)図書館流通センターの図書検索、蔵書管理などのシステムを利用して図書を購入しており、バーコードラベルやフィルムコートなどの*1*1の*1が完了した状態で納入されている。

今後、同システムを変更する場合、購入した書籍の装備や蔵書データベースの更新、施設間のネットワークの再構築などの課題が想定されるが、市教育委員会では、市内書店をはじめとする関係者と、現状と同等のシステムの構築ができないか意見交換を行っており、今後も継続していく。

【その他の質問】

◆認知機能の早期チェックについて など

一般質問など、定例会本会議の様子は、「八戸市議会インターネット映像配信」で録画配信中です。インターネットによる配信では、各議員の一般質問の内容全てをご覧いただくことが可能となっております。

また、ライブ中継も行っておりますので、次回の定例会開催時には、ぜひ、ご覧ください。

八戸市議会インターネット
映像配信はこちら⇒



*1 装備 … 本を管理するバーコードラベルや、傷みにくくするフィルムコートを貼るなど、本を図書館で使えるようにする作業。



車中泊避難者への支援は

新緑・無所属の会
伊藤 圓子



問 車中泊避難者の把握と支援に向け、車中泊可能な駐車場を指定する考えがないか伺いたい。

答 災害時においては、さまざまな事情により、車中泊避難を選択する避難者が生じることが想定されることから、八戸市地域防災計画では、車中泊避難を行うためのスペースの設置など、その支援策を検討するとともに、健康上の留意点の広報や、必要な物資の備蓄に努めることを位置付けている。

市としては、車中泊避難者も避難生活に必要な支援が受けられるよう、国が定める手引きや他自治体の取り組み事例も参考にしながら、車中泊避難者の把握方法や受け入れスペースの確保について研究していく。

【その他の質問】

◆遠野市との（仮称）姉妹・友好都市の締結について など



保育認定要件の就労時間の引き下げを

きずなクラブ
田名部 裕美



問 保育認定の就労要件について、就労時間の下限（64 時間）を引き下げる考えがないか伺いたい。

答 保育施設への入所を希望する際の保育認定について、当市では、就労を理由とする場合の就労時間の下限を月 64 時間と定めている。

国の基準では、下限を月48時間から64時間までの範囲内で市町村が定めるとしているが、市では平成27年

度に新制度が始まる際の審議を経て、64 時間の設定を継続することとした。

市としては、関係団体の意見を踏まえ、今後、受け入れ側の意見も丁寧に向い、働く意欲のある保護者が安心して働ける環境づくりに向けて、就労要件の見直しを視野に入れながら検討を進めていく。

【その他の質問】

◆地震による被災者支援について など



豪雨時における浸水対策は

無所属
石橋 充志



問 雨水排水施設の整備状況と、今後の浸水対策について伺いたい。

答 市では、台風や大雨の際に家屋の浸水被害が度重なり発生するような地区の整備を優先的に進めることとして事業計画を策定し、昨年度末までに事業計画面積の約 45%の整備が済んだ。雨水管きよや6カ所の雨水ポンプ場が稼働し、浸水被害の低減に効果を発揮している。

現在は駅西地区と尻内地区の雨水管きよの整備を進めており、駅西地区は本年度で整備完了予定である。

今後は尻内地区の雨水管きよの早期完了に向けた整備に加え、災害時の避難行動に役立ててもらうために全戸配布した内水ハザードマップを活用し、内水に係る浸水想定区域や避難情報の周知に努めていく。

【その他の質問】

◆子育て環境について など



番町ヒルズの借り上げ料協議の経過は

きずなクラブ
寺地 則行



問 (株)まちづくり八戸との借り上げ料の減額に関する協議について、これまでの経過を伺いたい。

答 借上市営住宅の借り上げ料については、包括外部監査における意見や、市が実施した不動産鑑定評価の結果、周辺家賃の変動状況を踏まえ、これまで貸主である同社との協議を行ってきた。

市では、同社の株主総会が開かれる本年6月までに再検討の結果について回答いただくよう申し入れ、取締役会で市の考え方を説明するとともに、市長の立場からも借り上げ料減額に向けて働きかけを行ってきた。

6月の株主総会では最終的な結論に至らなかったものの、双方が受け入れ可能な条件を見いだせるか、引き続き市と協議していくこととなっており、9月に開催予定の取締役会で改めて協議されると伺っている。



ふくちアイスアリーナ再開後の運営は

自由民主・無所属クラブ
山之内 悠



問 同アリーナ改修に向けた現状と再開後の運営について伺いたい。

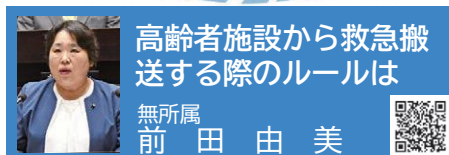
答 南部町では、県が新たに創設した「青の煌めきスポーツ施設整備事業費補助金」を活用し、本年8月から同アリーナの改修に係る実施設計業務に着手しており、来年度には工事に着手し、令和10年度からの再開を目指していると伺っている。

同アリーナは、八戸市内からの利

用割合も高く、広域連携の観点からも機能の維持・確保が必要な施設であることから、再開後の運営などに関して同町との事務レベルの協議を開始したところである。今後は、同町において試算する維持管理経費を基に、持続可能な運営などについて検討・協議を行い、令和9年度内に運営スキーム^{*2}の確立を目指していく。

【その他の質問】

◆学校施設開放事業について など



高齢者施設から救急搬送する際のルールは

無所属
前田 由美

問 高齢者施設から医療機関へ救急搬送する際の救急車同乗に関するルールについて伺いたい。

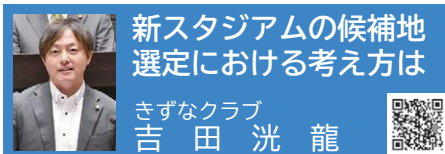
答 消防本部では、八戸地域広域市町村圏事務組合消防救急業務規程第28条において、「傷病者の関係者又は警察官から救急車への同乗の申出があった場合には、これに応ずるよう努める」と定めているが、傷病者の関係者などに対し、救急車への同乗を義務付ける規定はない。

ただし、救急搬送を円滑に進めるためには、傷病者・関係者・救急隊・医療機関相互の情報共有が重要になることから、傷病者の状態把握や身元連絡先などの情報提供をお願いするため、傷病者の関係者などへ同乗を求める場合がある。

【その他の質問】

◆福祉行政について

◆集中豪雨対策について など



新スタジアムの候補地選定における考え方は

きずなクラブ
吉田 洸 龍

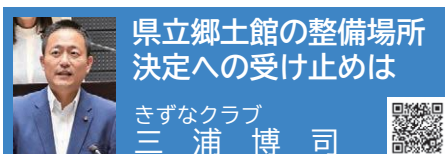
問 候補地の選定に当たり、市としてどのような視点や基準を重視して検討していくのか伺いたい。

答 新スタジアムの整備は、八戸地域全体の50年、100年先を見据えた将来のまちづくりを進め、人口減少社会における地域の活力を創出し、子どもたちが誇れるまちとしていくための重要な取り組みである。

候補地の選定に当たっては、公共交通などのアクセス性、スタジアムや周辺施設を整備するために必要な土地の条件、周辺環境との連携可能性、防災拠点としての役割のほか、年間を通じて日常的に多様な世代が集い、にぎわいや交流を生み出す「365日機能する交流拠点」を作っていくため、民間の事業参画可能性も重要であると考えている。

【その他の質問】

◆八戸市の財政運営について



県立郷土館の整備場所決定への受け止めは

きずなクラブ
三浦 博 司

問 県立郷土館の整備場所が弘前市に決まるまでの市の動きと、その評価について伺いたい。

答 県による意向調査に対し、災害リスクが低く、文化施設が集積する「中心街エリア」を候補地として回答し、当市初の県立文化施設の整備を期待しつつ、当市の強みや魅力を発信してきた。

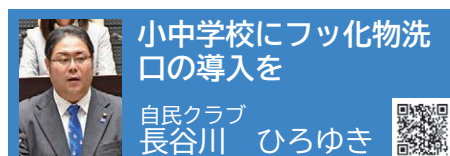
一方、県内3市による誘致合戦の

ように捉えられたことは本意ではなく、全県的な効果が最大限発揮される場所が望ましいと考えていた。

整備場所が弘前市に決定したことについては、県による総合的な判断と捉えており、新たな県立郷土館が、青森への愛着と誇りを育む施設となることを期待し、今後の企画展示や取り組みに協力していきたい。

【その他の質問】

◆小・中学校のプールについて



小中学校にフッ化物洗口の導入を

自民クラブ
長谷川 ひろゆき

問 フッ化物洗口^{*3}の導入に向け、今後の取り組みについて伺いたい。

答 市教育委員会では、児童生徒の歯と口腔の健康づくりを一層推進するため、来年度より市立小中学校の複数校をモデル校として、フッ化物洗口を実施する方針である。

洗口は週1回を基本とし、希釈が不要なボトルタイプの薬剤使用を想定しているほか、導入に当たっては、教職員の負担軽減を図るとともに、フッ化物洗口に対する保護者の不安を解消し、安全かつ確実に実施できる体制を整えていく必要がある。

モデル校での実施状況や課題を検証した上で、八戸歯科医師会とも協議を重ね、全市的な導入の在り方について検討していく。

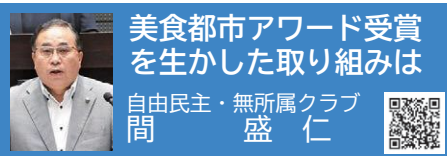
【その他の質問】

◆小中学生のスマートフォン等の長時間利用について など



*2 運営スキーム … 継続的に運営するための計画や枠組み。

*3 フッ化物洗口 … 永久歯の虫歯予防のため、一定濃度のフッ化ナトリウム溶液でうがいを行う方法。

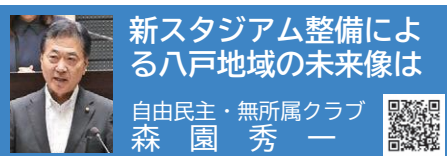


問 美食都市アワード^{*4} 2026 の受賞を一過性のものとしないうための今後の取り組みについて伺いたい。

答 今後の動きとして、本年の受賞都市が集まるフォーラムへ参加し、食を活かした観光地域づくりについて学びつつ、各都市の事例などについて情報共有を図るほか、当市の食の魅力を料理専門雑誌へ掲載し、食の専門家へPRすることも検討している。さらに、美食都市研究会によるオンライン勉強会を通じ、各都市とのネットワークづくりを進め、今後の当市の食のまちづくりに活かしていきたいと考えている。

受賞を一つの契機とし、当市の食の魅力を市内外に発信しつつ、関係者との連携を深め、食を活かした観光による地域活性化につなげていく。

【その他の質問】
◆次期八戸市総合計画について など

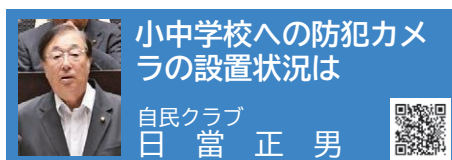


問 本事業が八戸地域にもたらす未来像と、県・市・クラブの3者連携による新たな都市形成の方向性について市長の考えを伺いたい。

答 クラブの存在が地域にもたらす価値は大きく、ヴァンラーレ八戸という「地域資産」と新スタジアム整備の効果は、まち全体の魅力を高め、経済を活性化し、人々の暮らしを豊かにするものと考えている。

スタジアム整備を契機に民間活力を最大限に呼び込みながら、日常的にぎわいと経済活動が絶え間なく生まれるエリアへ変革させたいと考えており、新たな都市拠点を形成することで、人口減少社会における地域の活力を創出し、子どもたちが誇れるまちをつくり上げていく。

【その他の質問】
◆若者の地元定着に向けた産学官連携体制の構築について など



問 小中学校における防犯カメラの設置状況について伺いたい。

答 八戸地区連合防犯協会では地域の防犯環境の向上を目的として防犯カメラ設置促進事業を進めており、本年3月末現在で、市内134施設に324台のカメラが設置されている。

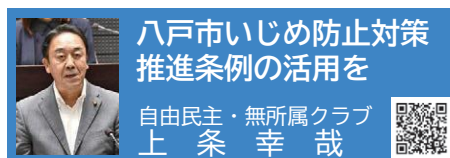
特に子どもの安全確保を最優先として設置を進めており、小中学校への設置状況は、小学校が41校中32校に計60台、中学校が24校中19校に計39台で合計99台となっている。

未設置の学校では、学校の要望に

沿い、学校周辺の施設などに設置しているため、全小中学校の通学路に最低1台は設置されている。

今後増設の要望があった際には、同協会と連携しながら対応していく。

【その他の質問】
◆みちのく潮風トレイルと八戸十和田トレイルの連携について など



問 同条例の活用に向けたこれまでの取り組みと、今後の取り組みについて伺いたい。

答 これまで校長会や教職員研修の場を通じて、同条例の周知徹底と確実な防止対策推進について確認してきたほか、各校では児童生徒に同条例の理念を周知し、「いじめは絶対に許されない」という強い規範意識の醸成に努めてきた。

同条例の周知拡大に向けては、メッセージ付き啓発用ポケットティッシュなどを作成し、各校の地域学校連携協議会などで活用することで市民全体の意識啓発を図っていくとともに、今後も関係機関や関係団体などとも緊密に連携を図りながら、規範意識の醸成に向けた実効性・有用性のある取り組みを推進していく。

【その他の質問】
◆生涯現役社会について など

^{*4} 美食都市アワード …日本における食文化と地域の魅力が融合した美食都市の実現を目指す中、先進的な取り組みを行い、今後の美食都市づくりのモデルとなる都市（人口50万人以下）を表彰するもの。（一社）美食都市研究会が主催している。



アプリのダウンロードは
こちらからどうぞ→



スマホ・タブレットで読める！「はちのへ市議会だより」

- アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担となります。
- 最新号が発行されると、プッシュ通知によるお知らせが届きます。
- アプリからは、「広報はちのへ」も閲覧することができます。

※広告表示について：このアプリは株式会社ホープが作成・運営しています。閲覧中に表示される広告内容に、八戸市は一切責任を負いかねます。